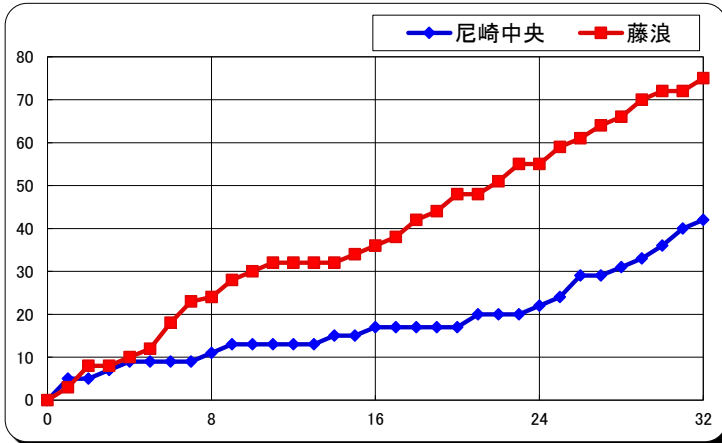




THE 44th ALL ALL JAPAN
Jr HIGH SCHOOL

大会名	平成26年度全国中学校体育大会 第44回 全国中学校バスケットボール大会																
会場	善通寺市民体育館																
日時	平成26年8月23日(土) 16:10																
コート	Aコート	第6試合															
カテゴリー	女	予選リーグM															
主審	武藤 陽子 (茨城県)																
副審	中平 春香 (香川)																
Team A		Team B															
尼崎中央	42	75 藤浪															
兵庫県		愛知県															
●		○															
	<table border="1"> <tr><td>11</td><td>1st</td><td>24</td></tr> <tr><td>6</td><td>2nd</td><td>12</td></tr> <tr><td>5</td><td>3rd</td><td>19</td></tr> <tr><td>20</td><td>4th</td><td>20</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	11	1st	24	6	2nd	12	5	3rd	19	20	4th	20		OT		
11	1st	24															
6	2nd	12															
5	3rd	19															
20	4th	20															
	OT																

【得点経過】



【BOXスコア】

Team A	尼崎中央						
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則
4	神田 奈緒	×	12	1	4	1	3
5	永山 莉央	×	8	1	2	1	4
6	南村 瑠華	/	2	0	1	0	0
7	石丸 菜華	×	0	0	0	0	1
8	染川 真生	/	0	0	0	0	0
9	鳥養 茉那	×	2	0	1	0	2
10	樋口 里衣奈	×	12	0	5	2	1
11	逢坂 妃向	/	0	0	0	0	0
12	梅村 なるみ	DNP	0	0	0	0	0
13	前西 咲希	/	0	0	0	0	0
14	系数 虹穂	/	6	0	3	0	1
15	橋本 瑞希	/	0	0	0	0	0
16	海野 志歩	/	0	0	0	0	0
17	山口 櫻子	DNP	0	0	0	0	0
18	進 琴海	/	0	0	0	0	0
監督	松本 康久						0
コーチ	上曾山 紗世						0
合 計			42	2	16	4	12

Team B	藤浪						
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則
4	山本 麻衣	×	11	0	4	3	1
5	佐古 愛	×	12	0	6	0	2
6	小野 佑紀	×	11	0	5	1	2
7	北川 雪乃	×	11	0	5	1	1
8	平松 真穂	/	0	0	0	0	0
9	岡本 莉奈	/	3	1	0	0	0
10	伊森 可琳	×	14	0	6	2	0
11	伊藤 彩果	/	2	0	1	0	3
12	森 愛理	/	0	0	0	0	0
13	安江 沙碧梨	/	0	0	0	0	0
14	大西 莉央	/	0	0	0	0	0
15	江田 晴香	/	4	0	2	0	0
16	下里 柚喜	/	2	0	0	2	1
17	佐古 美咲	/	0	0	0	0	0
18	深津 彩生	/	5	0	2	1	0
監督	鷲野 鋭久						0
コーチ	山本 貴美子						0
合 計			75	1	31	10	10

【戦評】

近畿ブロック代表尼崎中央と東海ブロック代表藤浪との一戦。両チームともハーフコートマンツーマンDefで始まった。藤浪#10のフリースローで先制。藤浪#4、#5の1対1で得点を積み重ねる。一方、尼崎中央は切り替えの速い攻撃を試みるが、藤浪の速い戻りにより得点できない時間が続く。藤浪はパスカットからの速攻で確実に得点を決める。また、ゴール下では藤浪#10のリバウンドシュート、ポストプレーで得点し、11対24で藤浪のリードで1Qが終了。2Qも同じくマンツーマンDefで始まった。藤浪は#6のリバウンドシュート、#5のパスカットからの速攻でリードを徐々に広げる。一方、尼崎中央はアウトサイドからのシュートを打つが、決まらずリバウンドからの速攻を許してしまう。確実に得点を決めた藤浪が17対36とリードし2Qが終了。

3Qは、残り4分まで尼崎中央は得点できず、一方、藤浪は#10、#6のリバウンドシュート、ポストプレーで確実に得点しリードをさらに広げる。尼崎中央は、残り4分でタイムアウトを取るが、藤浪の流れを切ることができず22対55で藤浪がリードし3Qが終了。最終クォータは、互いにアウトサイドシュート、速攻で得点を積み重ねた。尼崎中央は前半の占差を詰めることができず17対75で藤浪が勝利した。

【戦評記入者】

福家 功雄